

中小の内部統制システムで研究会

8日に国交省

国土交通省は、中小建設業の内部統制システムを普及するため、「建設業における内部統制のあり方に関する研究会」を立ち上げる。初会合を8日に開き、ガイドラインなど内部統制普及のための方策を2008年度内にまとめる。

研究会の座長には、高野伸栄北海道大学院工学研究科准教授が就任する予定だ。

会社法では、大会社が取締役の職務執行が法令などに適合してい

ることなど、業務の適正さを確保するための体制構築が義務付けられている。中小企業についても、業務執行監督の仕組み設置などが規定されている。

建設業界でも、大会社に適合する企業では改正会社法の施行とともに、内部統制システムの導入が進んだ。ただ、国交省によると、「中小建設業では、システムの構築は進んでいない」という。このため、研究会では、中小建設業を対象として、法令順守だけでなく、社会的に求められている事項や行動、情報公開などを検討し、ルールとして規定できるようにする方策を探り、ガイドラインなど中小建設業が導入しやすくするための方策をまとめる予定だ。

座長を除く委員は、次のとおり（敬称略）。

- ▽朝日ちさと（首都大東京都市教養学部都市政策コース准教授）
- ▽大久保和孝（新日本有限責任監査法人CSR推進部長・パートナー公認会計士）
- ▽楠茂樹（上智大学法学部法律学科准教授）
- ▽香田一郎（浅沼組監査室・東京分室長）
- ▽二宮照興（弁護士）
- ▽丸谷浩明（建設経済研究所研究理事）